

都市再生整備計画 事後評価シート

有田市中心市街地地区

令和3年3月

和歌山県有田市

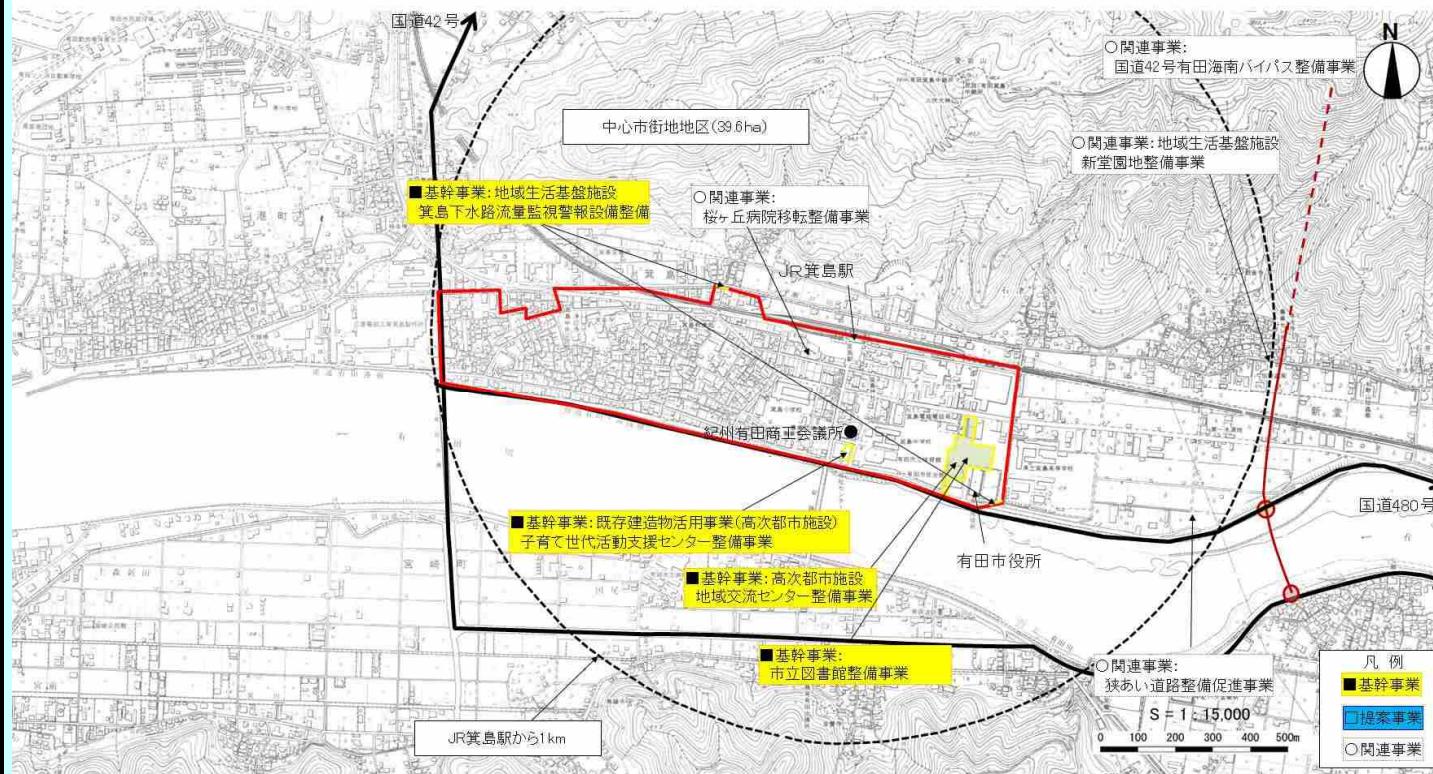
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県	市町村名	有田市	地区名	有田市中心市街地地区			面積	39.6ha	
交付期間	平成26～令和元年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	3197.3	国費率	0.499			
事業名										
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】望月港線狭隘箇所整備、【地域生活基盤施設】新堂園地整備事業、箕島下水路流量監視警報設備、【高質空間形成施設】望月港線緑化施設等、【高次都市施設】地域交流センター							
		提案事業	【地域創造支援事業】図書館整備							
	事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】望月港線狭隘箇所整備、【地域生活基盤施設】新堂園地整備事業			・計画期間内に事業を実施する目処が立たない ・計画期間内に事業を実施する目処が立たない			・影響なし ・影響なし	
		提案事業	【地域創造支援事業】図書館整備			・基幹事業「中心拠点誘導施設」に移行			・影響なし	
	新たに追加した事業	基幹事業	【中心拠点郵送施設】図書館整備 【既存建造物活用事業】子育て世代活動支援センター			・提案事業「地域創造支援事業」から移行 ・図書館移転に伴い、整備			・影響なし ・主要集客施設増加により利用者目標値を増加	
		提案事業	なし							
	交付期間の変更	当 初	平成26～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
		変 更	平成26～令和元年度			・影響なし				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		
	指標1	デマンドバス利用者増減率	%	-50.4	H25	-3.8	R1	モニタリング	評価値	
								あり	-	
								なし	-	
								-	主要王各施設の整備により、利用者数が大きく改善することに伴い、本市主要な公共交通機関であるデマンドバス利用者の増を見込んだ。結果として設定した目標には達成できなかったものの、改善したところを見ると、主要集客施設整備によるところが大きいと考えられる。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標2	JR箕島駅乗降客数の増減率	回	-0.5	H25	0.5	R1	モニタリング	評価値	
								あり	-	
								なし	-	
								-	主要主駅施設の整備により、有田市の玄関であるJR箕島駅の乗降客数の増加を見込んだ。結果として主要集客施設利用者数の割合と通勤、通学で利用する乗降客数の割合と比較すると後者が非常に大きく、態勢に影響を与えることできなかったのが要因と考える。	
4)定性的な効果発現状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		
	指標3	主要集客施設利用者数	人/年	37,555	H25	99,000	R1	モニタリング	評価値	
								あり	-	
								なし	-	
5)実施過程の評価	指標4							あり	-	
								なし		
	指標5							あり	-	
								なし		
実施内容										
モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
住民参加プロセス	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
持続的なまちづくり体制の構築	市民ボランティア団体によるイベント運営			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 充実している活動の継続的な実施を図る。			

様式2-2 地区の概要

中心市街地地区(和歌山県有田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 社会環境の変化と基盤整備に対応した安心・快適・賑わいを基軸とした都市機能の再整備 目標1: 中心市街地の都市機能強化と賑わい創出 目標2: 広域幹線道路の整備に対応した都市基盤の整備	デマンドバス利用者数増減率	%	-50.4	H25	-3.8	R1	-18.6	R1
	JR箕島駅乗降客数増減率	%	-0.5	H25	0.5	R1	-2.9	R1
	主要集客施設利用者数	人/年	37,555	H25	99,000	R1	156,756	R1



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センターや市立図書館、また子育て世代活動支援センターを整備したことにより、中心市街地への人の流れが創出できた。 ・地域交流センターが整備したことで、市民の文化交流の場となるとともに、図書館の整備により、蔵書の充実が図れ、目標値を大きく上回る来館者数で賑わっている。 ・子育て支援の一環で、子育て世代活動支援センターを整備したことにより、親子でいつでも集う交流の場が創出され、利用者も多いことから、子育てへの機運が高まることが期待できる。 ・中心市街地の洪水対策として、箕島下水路流量監視警報設備を整備したことにより、緊急事態にもすぐに担当職員が駆け付け対策が取れる環境となり、中心市街地での浸水被害が減少傾向。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4校ある中学校を1校に統合する整備を行う。 ・中心市街地を含め、市内全体における通学路の整備を行う。 ・統合中学校までの間ににおける狭隘区間の拡幅を行う。 ・中学生をはじめ、有事の際の避難路整備を行う。 ・住民主体のまちづくり活動をより充実させるため、地域住民全体のまちづくり活動やコミュニティ活動への参画促進を図る。